



オンラインセミナー

京大 経済学 教室



01

10/23(金)

脱炭素化が経済成長を
もたらす新しい資本主義発展の途

諸富 徹 教授

京都大学大学院経済学研究科・地球環境学堂



03

11/11(水)

持続可能な
発展に向けたアジアの構造転換

森 晶寿 准教授

京都大学大学院地球環境学堂

02



11/4(水)

再生可能エネルギーはなぜ世界で
大量導入が進むのか?

～リスクマネジメントの観点から
地球環境を考える～

安田 陽 特任教授

京都大学大学院経済学研究科
再生可能エネルギー経済学講座



04

11/26(木)
環境とイノベーション

梶山 泰生 教授

京都大学大学院経済学研究科・経営管理大学院

『環境』と『経済』
の関係

～その変容と方向性～

開催時間

各回:18時00分-19時30分

●ホームページよりお申し込みください。

<https://www.kyodai-original.co.jp/?p=9043>



[オンラインセミナー申込締切日] 各回、開催日の前日

※申込締切日を過ぎてのお申込みについては、見逃し録画配信のみ視聴いただけます。

[主催] 京大オリジナル株式会社

[共催] 京都大学大学院経済学研究科
京都大学大学院経営管理大学院
京都大学大学院地球環境学堂

[問合せ] 京大オリジナル株式会社 ナレッジプロモーション事業部
mail:kensyu@kyodai-original.co.jp 担当:中澤

受講料

各回:1,100円(税込)、全4回(一括):3,960円(税込)

対象

どなたでも(専門的な内容が含まれるため高校生以上を推奨します)

京大経済学教室 オンライン (Zoom)

(ライブ配信+見逃し録画配信)

- ・パソコンなどの端末、ネット環境が必要です。
- ・クレジットカードで決済いただいた方には、視聴方法について開催前日までに申込時のご登録アドレスにご連絡いたします。
kensyu@kyodai-original.co.jpからのメールを受信できるように設定してください。
- ・ライブ配信後、後日、オンラインサイト上で録画配信します。
(視聴には申込が必要です。2021年1月末まで視聴可能)
- ・お支払いはクレジットカードのみとなります。
その他のお支払い方法は承っておりませんので、ご了承ください。

京都大学における経済学研究は、本年度創立101年目を迎え、日本における経済学の研究と教育に関しては、最も古い伝統を持つ経済学部にて端を発しています。その1世紀を超える歴史の間に、著名な研究者や日本経済をリードする個性的なリーダーたちを輩出してきました。現在では、経済学・経営学の6つの分野（近代経済学理論、近代経済学応用、社会経済学、経済政策、経営学・会計学、歴史・思想史）や、医学部（医療経済）、農学部（農業経済）、地球環境学（環境経済）などにおいて、内外の先端的な研究者と交流しつつ自由闊達な議論を行いながら、独自の自由で多様な発想を持つ研究を進めています。

「京大経済学教室」は、そのような京都大学の経済学研究の成果と知見を、経済学に深い興味をお持ちの方や学び直したいとお考えの方、自らの進路の参考にしたいという大学生や高校生の方に、お届けしようとするものです。

初回となる今回はオンラインで実施し、一昔前はトレードオフの関係（相容れない関係）にあると言われた「環境」と「経済」の関係性の変容を中心に、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響にも言及しながら、4名の先生方にご紹介いただきます。

01 脱炭素化が経済成長をもたらす新しい資本主義発展の途

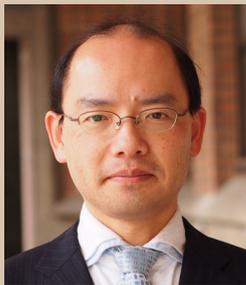
10/23 (金) 18:00-19:30

諸富 徹 教授

京都大学大学院経済学研究科・地球環境学

専門：財政学、環境経済学

これまで、環境と経済は対立すると言われてきたが、本当にそうだろうか。実は、環境問題に熱心に取り組むことは、往々にして産業の競争力を強化し、雇用を増加させ、経済成長にプラスとなってきた。本講演では気候変動政策を題材に、環境問題と経済成長の関係を問い直し、日本経済が将来進むべき道を考える。また、Covid19（新型コロナウイルス）の影響についても言及する。



02 再生可能エネルギーはなぜ世界で大量導入が進むのか？

～リスクマネジメントの観点から地球環境を考える～

11/4 (水) 18:00-19:30

安田 陽 特任教授

京都大学大学院経済学研究科 再生可能エネルギー-経済学講座

専門：再生可能エネルギー、風力発電、電力工学

再生可能エネルギーはパリ協定を遵守するための最も有力な手段として世界中で導入が進められており、もはや「大量導入」の段階に入っている。風力や太陽光などの再生可能エネルギーはこれまで「不安定」「頼りにならない」という認識もあったが、今日では電力システムの運用方法や電力市場の設計も進化し、調整力も供給可能でレジリエンス(回復力)のある信頼性の高い分散型電源とみなされつつある。本講義では、気候変動や自然災害に対するリスクマネジメントの観点から、再生可能エネルギーを論ずる。



03 持続可能な発展に向けたアジアの構造転換

11/11 (水) 18:00-19:30

森 晶寿 准教授

京都大学大学院地球環境学

専門：環境経済・政策学、持続可能性移行

アジアは「貧困と環境破壊の悪循環」から脱却する手段として経済成長を優先し、結果深刻な環境・社会影響に苦しんできた。その半面、中国のように風力発電や太陽光発電機材を大量に生産・消費・輸出して脱炭素化と産業競争力の強化を図る国も出現している。本講演では、こうしたアジアの開発と環境の対立と克服のダイナミズムを紹介しつつ、中国が主導する一帯一路戦略が持続可能な発展に向けた構造転換にもたらす影響を展望する。



04 環境とイノベーション

11/26 (木) 18:00-19:30

梶山 泰生 教授

京都大学大学院経済学研究科・経営管理大学院

専門：経営戦略、技術・イノベーション経営、国際経営

環境保護と経済活動を両立させるために、企業は新しいアイデアを事業化し、イノベーションを積み重ねてきた。その意味で、環境規制の存在は企業にとっての単なる制約ではなく、事業成長の機会にもなっている。この環境規制とイノベーションとの関係についてや、イノベーションの具体例、およびそこでの企業間競争のあり方について解説する。

